イチゴの病害虫の発生状況（１１月上旬）

１　うどんこ病

発生ほ場割合は平年並でしたが、一部で発病葉率の高いほ場が確認されています（図１）。まん延すると防除が困難になるので、発生初期から防除を実施してください。

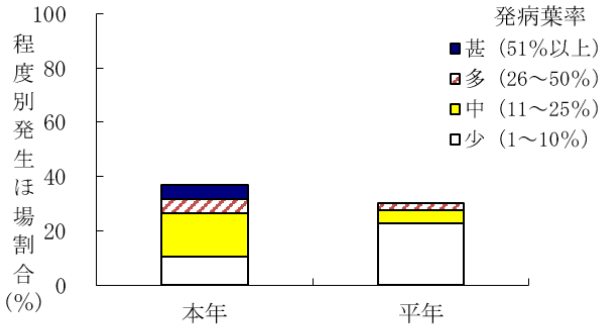


図１　うどんこ病の発生状況

２　土壌病害（炭疽病・萎黄病）

発生ほ場割合は、平年並でした（図２）。発病株及び発病が疑われる株は速やかに抜き取り、ほ場外に持ち出し、適切に処分してください。

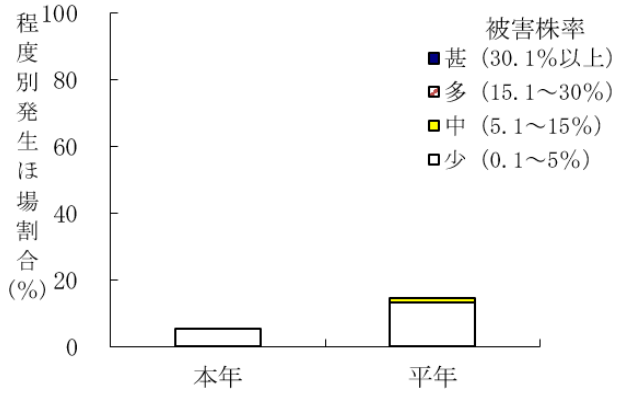


図２　土壌病害の発生状況

３　アブラムシ類

発生ほ場割合は、平年並でした（図３）。寄生密度が高くなると、すす病による果実汚れが生じるので、発生を確認した低密度時から薬剤防除を実施してください。

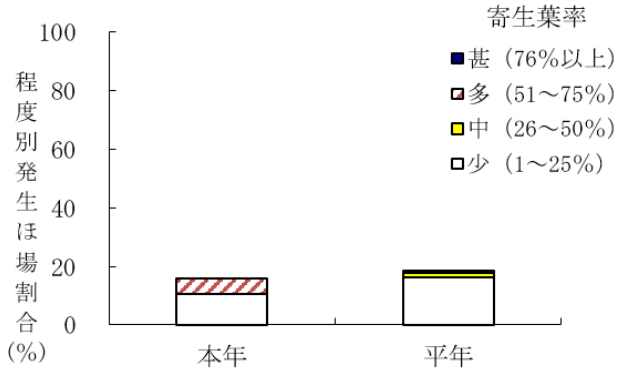


図３　アブラムシ類の発生状況

４　ハダニ類

発生ほ場割合は平年並でしたが、一部で寄生株率の高いほ場が確認されています（図４）。早期発見に努め、低密度時から防除を実施してください。抵抗性の発達が懸念されるので、薬剤の選択には注意してください。また、ハダニ類の防除にチリカブリダニやミヤコカブリダニを放飼する場合には、天敵資材に影響の小さい薬剤を選択してください。

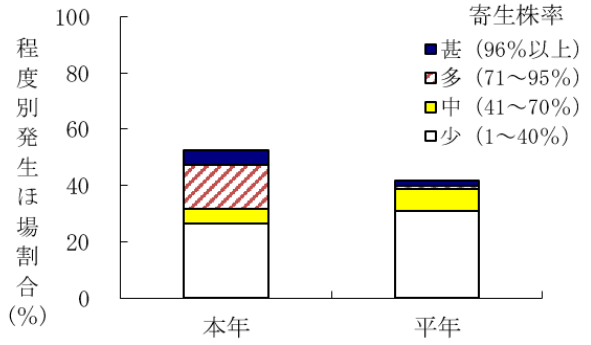


図４　ハダニ類の発生状況

５　コナジラミ類

発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図５）。寄生密度が高くなるとすす病発生の原因となるので、低密度時から防除を実施してください。

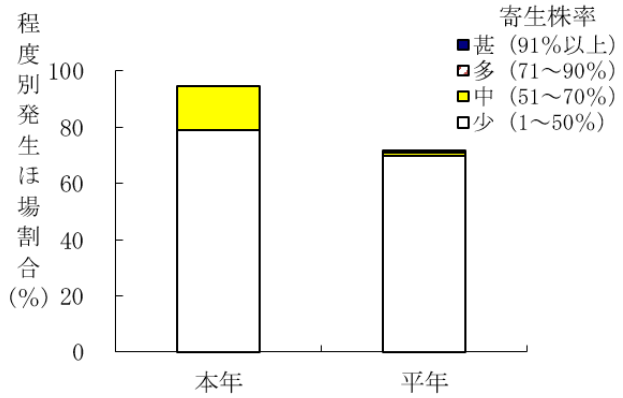


図５　コナジラミ類の発生状況

６　ハスモンヨトウ

発生ほ場割合は、平年並でした（図６）。ほ場をよく観察し、寄生が確認された場合は速やかに防除を実施してください。

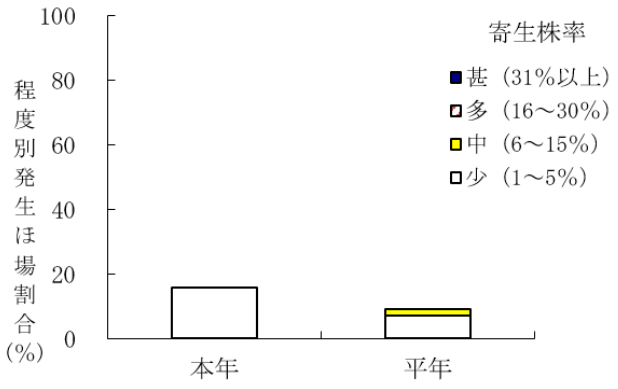


図６　ハスモンヨトウの発生状況

７　アザミウマ類

巡回調査では、発生は確認されませんでした（図７）。寄生密度が高くなると果実被害が発生します。開花中の花をよく観察して、寄生が確認される場合は低密度時から防除を実施してください。

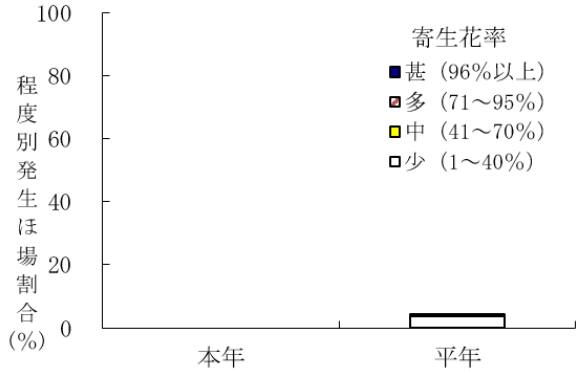


図７　アザミウマ類の発生状況

※イチゴの巡回調査は、下記の 19 ほ場を調査しています。

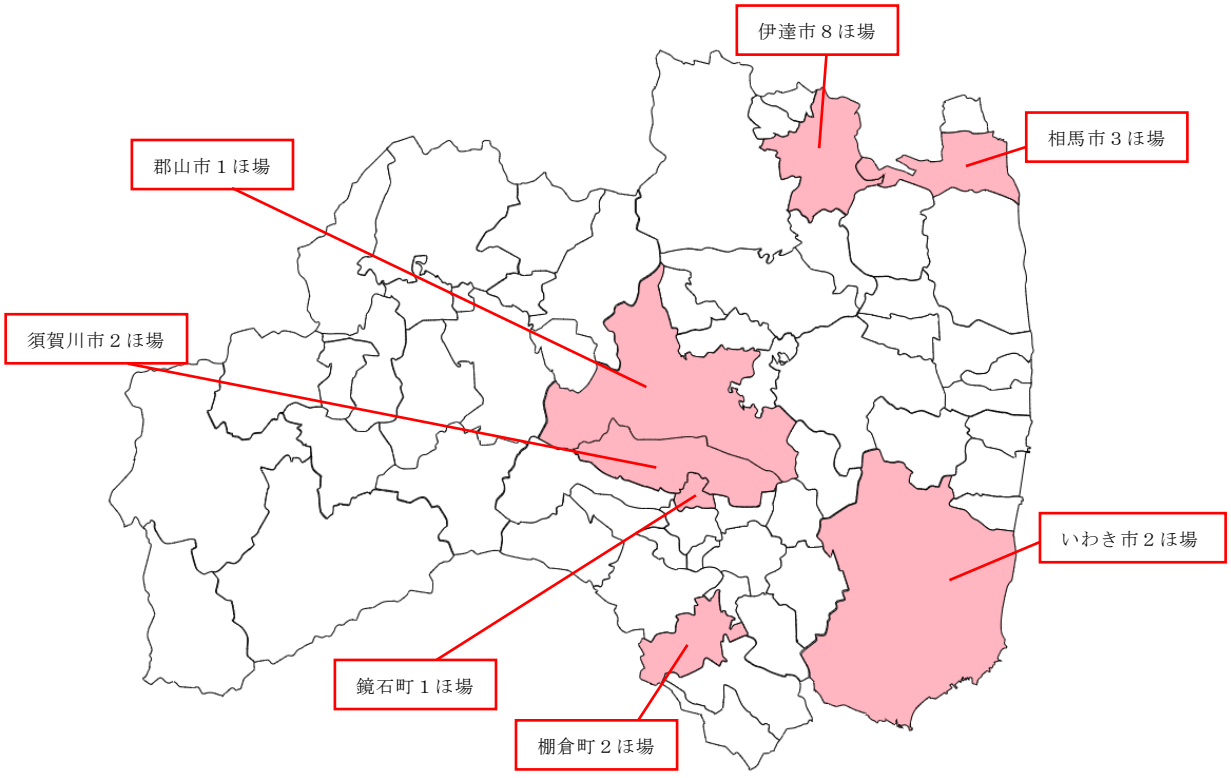


図　イチゴの巡回調査地点

※網掛け:イチゴの巡回調査地点、７市町村、19 地点

● 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709　Fax:024-958-1727　Mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp